

# 占事略決本文とその校訂

中村 璋 八

占事略決は、本朝書籍目録、陰陽の部に、「占事略決、一卷、晴明朝臣撰」と、当時、伝存していた九部の陰陽書と共に見え、この書が陰陽道において重要な位置を占めていた天文家の祖、安倍晴明の撰であることを示している。また、この書は、平安朝や鎌倉、室町期の日記、長秋記や花園天皇宸記などにも、その名が散見し<sup>②</sup>。当時、重んぜられていたことが知られる。併し、この書は、刊本も存せず、また、未だこれに対する考察も全くなされていない。そして更に、その鈔本に就いても、和田英松博士は、その著「本朝書籍目録考證」<sup>③</sup>の中で、「この書は、長秋記に『世間流布本也』とあれど、今は伝本稀にして、僅に前田侯爵家所蔵の古写本あるのみ」としておられるように一本しか指摘されていない。だが、その尊経閣文庫蔵本のほか、現在、京都大学図書館蔵（旧清家文庫蔵）と宮内庁書陵部蔵（その転写本、国会図書館蔵、新城文庫本）の二鈔本が伝存している。そこで、この現存する三鈔本を比較・検討してみると、京都大学図書館本が最も善本であるという結果になった。

本稿では、この最も善本である京都大学図書館本を底本として、他の二鈔本と校合し、その校訂本の作成を試みた。また、この三鈔本は、共に多くの頭注と脚注とを具えていて、この本文の解説に益する点が多い。そこで、その主要な注の一部をも併せ掲げた。これに拠って「占事略決」の全体を知ることが出来、併せて、この書の内容を理解することが出来ると思う。

凡 例

一、占事略決の本文は、京都大学図書館蔵本を底本とした。  
一、京都大学図書館蔵本が明らかに誤っていると思われる箇所は、尊経閣文庫蔵本及び宮内庁書陵部蔵本に拠って訂正した。

一、頭注及び脚注は、煩瑣でもあり、且つ文字の不明の箇所もあるので、その全てを挙げることはしなかった。  
一、併し、本文の理解に必要な条は、極力、掲げるようにした。  
一、㊦とあるのは、筆者が、五行大義に關聯する条があるのを指摘したものである。  
一、校訂に用いた鈔本の略号は、次の如くである。

京都大学図書館蔵本 …………… 京本  
前田家尊経閣文庫蔵本 …………… 尊本  
宮内庁書陵部蔵本 …………… 宮本

〔注〕

- ① 本朝書籍目録は、弘安（一二七八～一二八八）末年より正応（一二八八～一二九三）初年に編纂されたと言われる。  
② このことに就いては、拙稿「占事略決とその鈔本」（桜美林大学、中国文学論叢第七号所収）参照。  
③ 「本朝書籍目録考証」（昭和十一年十一月、明治書院刊）。

占事略決

○四課側、宮本有課議也、或斂也六字、

○用九、京本作九用、

四課三傳法第一

課用九法第二

天一治法第三

十二將所主法第四

十二月將所主法第五

十二剛柔法第六

十二支陰陽法第七

課支干法第八

五行王相等法第九

所勝法第十

五行相生相剋法第十一

五行相刑法第十二

五行相破法第十三

日德法第十四

日財法第十五

日鬼法第十六

干支數法第十七

五行數法第十八

五行干支色法第十九

十二客法第二十

十二籌法第二十一

一人問五事法第二十二

知男女行年法第二十三

空亡法第二十四

知吉凶期法第二十五

三十六卦所主大例法第二十六

占病崇法第二十七

占病死生法第二十八

占產期法第二十九

占產男女法第三十

占待人法第三十一

占盜失物得不法第三十二

占六畜逃亡法第三十三

占聞事信不法第三十四

○待、尊本誤侍、  
○不、尊本・宮本作否、下同、

占有雨不法第三十五

占晴法第三十六

四課三傳法第一

○京本、頭注有月將者即月神也、月神者、假令一月者、以徵明加時是也、他效此二十五字

○占事、宮本作時、

○日辰側、京本、宮本有十干也、十二支也七字、

○辰之陽、尊本誤辰之陰、

○京本、頭注有日爲干、辰爲支、則干主天、支主地也十四字

○甲乙以下側、尊本、宮本有日月天地人民金石江河十字

○是爲日、是爲辰也、尊本、宮本爲本文、

○京本、頭注有五十大義云、運用不止、故曰行十二字、

○神神、尊本、宮本作神、

常以月將加占事、視日辰陰陽、以立四課。日上神、爲日之陽。一課日上神本位所得之神、爲日之陰。二課辰上神、爲辰之陽。三課辰上神本位所得之神、爲辰之陰。四課甲乙丙丁戊己庚辛壬癸、是爲日子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥、是爲辰也四課之中、察其五行、取相剋者、以爲用。發用神神爲一傳、用神之本位所得神爲二傳。二傳神之本位所得神爲三傳也。

課用九法第二

○无、尊本·宮本作無、

○京本、頭注有奴婢皆是篠從也七字

第一、若四課中有下剋上者、當以爲用。若无下剋上者、以上剋下爲用。所以然者、下剋上爲逆爲深。臣殺君、子殺父、婦殺夫、婢殺主。故爲深。上剋下者爲順爲淺。君怒臣、父賊子、夫殺妻、主殺奴、故爲淺也。

○仲、尊本·宮本作中、

○從寅申至爲季十八字、尊本·宮本爲本文

第二、若有二三四下剋上·亦二三四上剋下者、以與今日比者爲用、剛日比日、神后·功曹·天剛·勝先·傳送·河魁。柔日比辰、大吉·大衝·太一·小吉·從魁·徵明也。

第三、若四課俱比·俱不比、以涉害深者爲用、加孟爲深、加仲爲半、加季爲淺。寅申巳亥爲孟、子午卯酉爲仲、丑未爲季。

○共、尊本·宮本作俱

第四、若有涉害共等者、取先舉者爲用。所謂先舉者、日爲先、辰爲後、陽爲先、陰爲後也。

○爲用上、尊本·宮本有者字

第五、若四課陰陽皆不相剋者、以遙相剋爲用。所謂今日神遙剋四課神、四課神遙剋今日神也。

○謂上、尊本·宮本有所字、  
○京本、頭注有金曰上剋下憂  
臣、下剋上憂主、休廢爲老  
人、王相丁莊也、

○兩、京本誤雨、今依尊本·  
宮本改、

○無、京本誤元、今據尊本·  
宮本改、

○京本、頭注有剛曰爲陽、陽  
之性首於天、故仰視之、柔  
曰爲陰、陰之性、首於地、  
故伏視之、

○京本、頭注有十二神皆歸其  
家、名曰閉吟也、

○臨、尊本·宮本作成、  
其位、故曰反吟、

○尊本·宮本、頭注有剛曰以  
日之衝爲用、柔日以辰也、  
衝爲用、

○京本、頭注、有丑日用微明、  
未日用太一、

○爲用下注、尊本·宮本作丁  
丑丁未己丑己未辛丑辛未是  
也、丁未辛未日太一臨亥用、  
丁丑己丑辛丑微明臨巳用、

按此章據五行大義、第二十、  
論諸神所引六壬式經之文歟、

○戊、尊本·宮本作戊、  
○法、尊本·宮本作法、宮本  
引一本改法、

若今日神剋四課神·四課神剋今日神者、以神剋日爲用。若日剋兩神·兩神克日者、取比者爲用。若俱比·俱不比者、以涉害深爲用。

第六、若四課之中、無上下相剋、亦無遙相剋者、以昴星爲用、昴星者、從魁是也、剛日仰視西上所得

神爲用、柔日以從魁所臨之下神爲用。其三傳法異常也。剛日傳辰上終日上、柔日傳日上終辰上。

第七、天地伏吟時、謂天地神、各居其位、若有相剋者、當以爲用。謂之若無相剋者、剛日以日上神爲用、

柔日以辰上神爲用。其三傳用神爲一傳、其刑神爲二傳、其衝神爲三傳也。刑衝法在左也、

第八、天地反吟時、謂天地神反其位也、假令子神臨午上也、若有相剋者、當以爲用。无相剋者、剛日以日之衝爲用、柔

日以辰之衝爲用。謂衝子午相衝、丑未相衝、及亥未相衝也、己丑未·辛丑未·丁丑日、反吟是也、其三傳法、傳辰上、終日上神。反吟時、三傳有異端、省而不載、

第九、五柔日作用不同。謂五柔者、八專日別稱也、甲寅·庚申·己未·丁丑·癸丑是也、若有相剋者、當以爲用。其三傳如常、若无相剋者、

剛日從日上神、順數及三神爲用、柔日從辰上神本位所得神、逆數及三神爲用。剛柔俱无三傳終日辰上而已。若用起日辰上者、唯一傳耳。

### 天一治法第三

欲知諸將前後、以天一爲首。天一在亥上、以子爲前、以戌爲後。天一在戌上、以西爲前、以亥爲後。天一在辰上、以巳爲前、以卯爲後。天一在巳上、以辰爲前、以午爲後。常背天門向地戶。所向爲前、所背爲後、甲戌庚旦治大吉、暮治小吉。乙巳旦治神后、暮治傳送。丙丁旦治徵明、暮治從魁。六辛旦治勝先、暮治功曹。壬癸旦治太一、暮治大衝。旦暮治法、從寅至酉爲旦、從戌

○京本、頭注有金二云、書夜之分以星決、星沒爲旦、星出爲夜也

至丑爲暮。

按此章據五行大義第二十、論

十二將所主法第四

諸神歟

○京本、無第四二字

前一騰蛇火神、家在巳、主驚恐怖畏、凶將。

○第四下京本有天一貴人、十

前二朱雀火神、家在午、主口舌懸官、凶將。

干日、甲戌庚乙己丙丁壬癸

前三六合木神、家在卯、主陰私和合、吉將。

辛、陽貴、未丑午申子酉亥

前四勾陳土神、家在辰、主戰鬪諍訟、凶將。

卯巳寅、陰貴、丑未寅子申

前五青龍木神、家在寅、主錢財慶賀、吉將。

亥酉巳卯午、

○京本、頭注有騰蛇爲突怪也、

天一貴人土神、家在丑、主福德之神、吉將。

星得鬼宿、

○懸、尊本作懸

後一天后水神、家在亥、主後宮婦女、吉將。

○京本、頭注有論語云、天以

後二大陰金神、家在酉、主弊匿隱蔽、吉將。

俞君也、

後三玄武水神、家在子、主亡遺盜賊、凶將。

後四大裳土神、家在未、主冠帶衣服、吉將。

後五白虎金神、家在申、主疾病死喪、凶將。

後六天空土神、家在戌、主欺殆不信、凶將。

前盡於五、後終於六、天一立中央、爲十二將、定吉凶、而斷事者也。

按此章據五行大義第三十、論諸神歟

十二月將所主法第五

○罕、尊本・宮本作穿、

正月徵明水陰神、凶治在亥、爲河神、主罕獄鬪訟事。

二月河魁土陽神、凶治在戌、爲土神、主口舌婦人事。

○京本有玉衡星散、

三月從魁金陰神、凶治在酉、爲竈神、主移徙搖動事。

○賈、尊本・宮本作賈、

四月傳送金陽神、吉治在申、爲道路神、主遠行商賈事。

五月小吉土陰神、吉治在未、爲天井、主酒食厨膳事。

六月勝先火陽神、吉治在午、爲外竈、主五穀口舌事。

○竈下、尊本・宮本有神字、下同、尊本・宮本、頭注有集靈云勝先有他心也。

七月太一火陰神、凶治在巳、爲內竈、主船車相連事。

○土公、尊本・宮本作土神、

八月天剛土陽神、凶治在辰、爲土公、主疾病死喪事。

○京本、頭注有春秋運斗樞云玉衡散爲兔、云云、

九月大衝木陰神、凶治在卯、爲社樹、主林木船車事。

○木樹、尊本・宮本作大樹

十月功曹木陽神、吉治在寅、爲木樹、主徵召長吏事。

○吏、尊本・宮本作史、

十一月大吉土陰神、吉治在丑、爲山神、主六畜宮土事。

十二月神后水陽神、吉治在子、爲北辰、主婦女陰私事。

### 十干剛柔法第六

按此章據五行大義第五、論配支干及第六、論五行相雜敷

甲丙戊庚壬爲剛干、亦爲陽干。

乙丁己辛癸爲柔干、亦爲陰干。

按此章據五行大義第五、論配支干敷

### 十二支陰陽法第七

子寅辰午申戌爲陽支、亦爲剛支。  
丑卯巳未酉亥爲陰支、亦爲柔支。

按此章據五行大義第五、論配

支干數

課支干法第八

甲課寅、乙課辰、丙課巳、丁課未、戊課巳、己課未、庚課申、辛課戌、壬課亥、癸課丑。

按此章據五行大義第四、論相

生、三論四時休王數

五行王相死囚老法第九

○第九下、京本有夫五行皆資陰陽氣而生也之注、  
○京本、頭注有相助也、王則帝王之義也、相則太子位也、王相爲有氣、囚死老爲無氣、

春三月木王青火相黃土死黑金囚赤水老白。  
夏三月火王赤土相白金死青水囚黃木老黑。  
季夏土王黃金相黑水死赤木囚白火老青。  
秋三月金王白水相青木死黃火囚黑土老赤。  
冬三月水王黑木相赤火死白土囚青金老黃。

所勝法第十

王氣所勝法憂懸官。相氣所勝法憂錢財。死氣所勝法憂死亡。囚氣所勝法憂繫囚。老氣所勝法憂疾病。

按此章據五行大義、第四論相生、一、論相生及第十、論相剋、一、脫五行相生相剋法第十一之文、

五行相生相剋法第十一



木生火、火生土、土生金、金生水、水生木。  
木剋土、土剋水、水剋火、火剋金、金剋木。

按此章據五行大義、第十一、論刑歟

五行相形法第十二

○形、尊本·宮本作刑、

子刑卯、卯刑子、寅刑巳、巳刑申、申刑寅、丑刑戌、戌刑未、未刑丑、辰午酉亥各自刑神。

按此章據五行大義、第十三、論衝破歟、

五行相破法第十三

○宮本、脫第十三、子酉相破七字、  
○尊本·宮本作寅亥相破、辰丑相破、

子酉相破、辰丑相破、寅亥相破、午卯相破、申巳相破、戌未相破。

按此章據五行大義、第七、論德歟、

日德法第十四

甲德自處、乙德在庚。丙德自處、丁德在壬。

戊德自處、己德在甲。庚德自處、辛德在丙。

壬德自處、癸德在戊。

日財法第十五

木財土、火財金、土財水、金財木、水財火。

日鬼法第十六

○京本有木遭金而折傷、此故畏也、火得水而滅之、土值木而腫、金入火而消亡、水遇土、不行之注、

木鬼金、火鬼水、土鬼木、金鬼火、水鬼土。

按此章據五行大義第三、論數、

三論支干數歟、

干支數法第十七

甲己數九、乙庚數八、丙辛數七、丁壬數六、戊癸數五。子午數九、丑未數八、寅申數七、卯酉數六、辰戌數五、巳亥數四。

按此章據五行大義、第三論數、

二、論五行及生成數歟

○宮本脫五行數法第十八之文

○第十八下、京本有五行大義

為六、云、水在天為一、在地

此可知也、六、一合於北方、餘以

成數、尊本作成員、下同、

五行數法第十八

水生數一、成數六、火生數二、成數七、木生數三、成數八、金生數四、成數九、土成數五、成數十。

按此章據五行大義、第十四、

論雜配、一、論五色及第六、

論五行相配、二、論支干雜

歟

○京本無色字據尊本·宮本補

五行十干十二支色法第十九

寅卯甲乙木、色青在東。巳午丙丁火、色赤在南。丑未辰戌戊己土、色黃在中。申酉庚辛金、色白在西。亥子壬癸水、色黑在北。

按此章據五行大義、第二十、

論諸神歟、下同、

○第二十下有一時十二人客輩

問占之時、以客可占也之注、

十二客法第二十

子酉寅亥辰丑午卯申巳戌未。陰將臨時、前五後三。陽將臨時、後三前五。

假令正月徵明陰將也。即徵明為一客、天剛為二客、大吉為三客等是也。二月河魁陽將也。

○尊本・宮本無而字、

即河魁爲一客、小吉爲二客、神后爲三客等是也。又有范蠡十三人法、省而不載。

○第二十一下、京本有一人問

十二事之時可占也、但其事

殊類以五事可占、假令初參

一二三四五取云左右以籌可

占歟之注、

○尊本・宮本有籌者若陰神ナ

ラハ終ニテ陰也、若陽神ナ

ラハ終ニテ陽也之注、

十二籌法第二十一

未戌巳申卯午丑辰亥寅酉子。

陰神發用、前三後五。陽神發用、後三前五。

假令徵明發用、即徵明爲一籌、功曹爲二籌、從魁爲三籌等是也。河魁發用、即河魁爲一籌、

小吉爲二籌、神后爲三籌等是也。

一人問五事法第二十二

第一月將加時、第二大歲加時、第三月建加時、第四行年加時、第五本命加時。

知男女行年法第二十三

男以本命加大歲、功曹下爲行年。

女以大歲加本命、傳送下爲行年。

空亡法第二十四

甲子旬、戌亥爲空亡。甲寅旬、子丑爲空亡。甲辰旬、寅卯爲空亡。甲午旬、辰巳爲空亡。

甲申旬、午未爲空亡。甲戌旬、申酉爲空亡。

按此章據五行大義第五、論配

支干歟、

○第二十四下、尊本・宮本有

子午屬庚、丑未爲辛、寅申

屬戊、卯酉屬己、辰戌爲丙、

巳亥屬丁之注、

### 知吉凶期法第二十五

○尊本·宮本無者字、

○則、尊本·宮本作即、下同、

○善、尊本·宮本作嘉、  
○喜、尊本·宮本作善、

○尊本·宮本無者字、

常以河魁之所加爲法。假令河魁加子午者、河魁戌數五、子午數九、相乘之、五九四十五、則以四十五日內爲期。加丑未者、相乘之、五八四十、則以四十日爲期。他效之。月期者以用神所主月謂之。假令功曹起用、以正月十月爲期也。正月者、月建所主、十月者、月將所主也。日期以今日所愛爲善期。假令今日甲乙日者、以壬癸丙丁日爲喜期。以今日所惡爲憂期。假令今日甲乙日者、以庚辛日爲憂期。

### 三十六卦大例所主法第二十六

#### 氣類物卦第一

○此節據五行大義、第四、論相生、二、論生死所歟、

○盛、尊本·宮本作咸、宮本引一本作盛、  
○尊本·宮本假令上、有或疏二字、

○尊本·宮本無也字、

謂所生爲氣、所死爲物、同位爲類。木生於亥、盛於卯、死葬於未。假令甲乙日占事、微明起用爲氣、功曹大衝起用爲類、小吉起用爲物也、他效此。火生於寅、盛於午、死葬於戌。土生於火位、王於六月、死葬於辰。假令戊己日占事、勝先起用爲氣、大吉、小吉、河魁起用爲類、天剛起用爲物也。金生於巳、盛於酉、死葬於丑。水生於申、盛於子、死葬於辰。是故亥卯未爲木位、寅午戌爲火位、巳酉丑爲金位、申子辰爲水位。土無方位、寄治於丙丁。氣憂父母、類憂兄弟及己身、物憂妻子及下人。

#### 新故卦第二

謂剛日用、在陽爲新、在陰爲故、有氣爲新、無氣爲故。言日辰上神爲陽、本位上神爲陰也。柔日所生加之爲新、所死加之爲故。假令之日河魁臨日爲新、大吉臨之爲故等也。

○第三下、京本有易曰、元者善之長也、變一言元、元者氣也、  
○京本、頭注有元始也、又長也、首也、廣雅云、首謂之頭、書云、元首起哉、元首君也、人初生謂之首、

○茹、京本作茄、  
○第五下、尊本·宮本有又名見機卦、又名綴班、占盜賊有隣  
○比下、尊本·宮本有者字

○第六下、尊本·宮本有爲創物、報物、遠物之注、  
○陰陽下、尊本·宮本有中字、  
○是、宮本作產男子、

○第七下、尊本·宮本有病者大力ナレドモ不死占產男子也、  
○昂、尊本誤昇、  
○沈、尊本·宮本作深、  
○第八下、尊本·宮本有剛曰欲行中正、柔曰伏藏不起、凡凶力皆近之注

### 元首卦第三

謂以上剋下爲用是也。占事、皆以神將、論其憂喜。

假令、正月甲子日、寅時占是也。

### 重審卦第四

謂四課中、有上剋下·下剋上、以下剋上爲用是也。以此占人、出軍行師、不利爲主人。

假令二月之巳日、午時占是也。

### 傍茹卦第五

謂四課中、有二三四相剋二三四俱比、以涉害深者爲用是也。此時所作警留憂患難解、妊娠傷

胎。假令、四月辛酉日、卯時占是也。

### 蒿矢卦第六

謂四課陰陽、有與今日遙相剋者爲用是也。此時占事、神來剋日、禍從外來。日往剋神、身行

報仇、以神將論其吉凶。

假令、正月甲戌日、寅時占是也。

### 虎視卦第七

謂四課陰陽中、无相剋、亦无遙相剋、以昂星爲用是也。以此占事、剛日遠行、主涉開梁。男

子恐死於外。柔日伏藏、不欲見人、行者警留、居者有憂。女子淫嫉、沈憂不解。假令、六月戊寅日、寅時占是也。

### 伏吟卦第八

謂天地伏吟時也。以此占人。聞憂不憂、聞喜不悅。占生子、暗啞若盲聾、占病者不言。合者

將離、居者將移。開梁杜塞、諸神各歸家。假令、十月甲子日、寅時占是也。

○第九下、尊本・宮本有甲庚日功曹婦委背夫、剛日男不正不忠同婦人、奸邪為亂、柔日女子不貞不潔間私通男子內亂之注、

○尊本・宮本無而字、又比下有焉字、

○第十一下、京本有毛詩云、狡童有貌無實也、殷紂名狡童也、

○謂、宮本作課

○親下、尊本・宮本有族字、尊本・宮本無是字、

○第十二下、京本有占子不孝也、一名五柔卦、占臣不忠

○京本、頭注有文選第二十五云、高祖惟薄不修、孝文祗席無辨云云、

○亂、尊本・宮本作姝、禮記月合云、虎始交、注云、交猶合也、

○得、尊本・宮本有將字、傳終下、尊本・宮本有亦字、

○丁丑、尊本・宮本作十一、

○第十四下、京本有大撓經云、亂首卦皆為凶逆、下欲犯上、百事皆凶、占田宅不安、逆氣侵上、必書長老、

○一者下、尊本・宮本無日字、

反吟卦第九

謂天地反吟時也。占事、必見死人。父有不孝之子、君有不順之臣。父无所親、君无所因。以謀害人、殃及其身。假令、今日庚寅日、反吟占是也。

無媼卦第十

謂陽不與陰合、陰不與陽親、三言相得、而往比是也。以此占人、法式不正、夫婦各有邪心。假令、十月甲子日、午時占是也。

狡童送女卦第十一

謂用起天后終六合玄武是也。占事、家无逃女、必有亡婦。親挨弊匿、使不得見。六月戊戌日、辰時、正月庚午日、卯時占是也。

帷薄不脩卦第十二

謂一神二神陰陽共焉、八專日謂也。占事、有內亂媼姝之事也。

三交卦第十三

謂以大衝・從魁加今日日辰為用。得六合大陰、又以日辰在四仲神、又用起四仲、傳終四仲是也。占事、家匿罪人之象也。假令、正月之未日、卯時、正月丁丑日、寅時占是也。

亂首卦第十四

謂罰日也。一者日往臨辰、用起其上。正月辛巳日、未時占也。二者以辰剋其日、用起日上。正月甲申日、卯時占是也。占事、臣殺君、奴婢害主。當此時不可舉兵。

○第十五下、京本有金海曰、卯日占事、用起卯上、酉日占事、用起酉上、人羊立之、分離動搖、不可復合也之注、

○第十六下、京本有一名制日卦五字、又尊本·宮本有今日辰來加今日日爲用是也之注、

○尊本·宮本無是字、  
○京本無神字、據尊本·宮本補、

○尊本·宮本無是也、庚寅日反吟占八字、

○第十八下、京本有秘要曰、君子遷官、小人得罪也、  
○遇之下、尊本·宮本無者字、  
○下則、尊本·宮本作即、

○四牝、新撰六旬集作四圮、

○新、尊本·宮本作親、宮本引一本改新、

○茹、京本作茄、  
○第二十下、京本有知一、聯茄異名也、尊本·宮本有又名如一、陰日陰神爲用、陽日陽神爲用也、

### 龍戰卦第十五

謂二八門與用俱起、卯酉日用起卯酉上是也。欲行不得行、欲止不得止。占事、其人動搖不安、將分財離居也。

### 贅聲寓居卦第十六

謂今日之辰來加日、日往賊辰、辰來受賊是也。此女提子而行嫁、復以其身、託寄他人、不得自專之也。以此占人、皆有違逆奸媾內亂之事。吉凶各以神將論之。假令、十月甲戌日、午時占是也。

### 陰陽無親卦第十七

謂陽无所依、陰无所親。禍生內外、將及其身。以此謀事、必見死人。父有不孝之子、君有不順之臣。父无所親、君无所因。天地反者也。一者時遇反吟、陰剋其陽是也。庚寅日、二者時遇反吟、四課皆剋。

正月壬午日、巳時占是也。三者日辰上神、皆爲其陰所賊。假令、正月庚子日、巳時占是也。

### 蹠蹠卦第十八

謂天一之神、立二八門是也。正月辛亥日、寅時占是也。若占遇之者、有德君子則進上、奸虛小人則退下。卑官失祿、高官遷職。此皆陰陽易位、天一在門、搖動不安之象也。

### 玄胎四牝卦第十九

謂用起四孟神、傳終在四孟是也。若占遇此卦者、其人始含經計、欲有建立、占事、是新善惡、以將云之、若無計謀、即妻妾將有子也。

### 聯茹卦第二十

謂用起神與今日比是也。五月辛亥日、卯時占也。亦雖用神不比、以日辰上神、及傳終與日比是也。若將射彼

○第二十一下、京本有直爲壯曲爲老、是老少之儀歟、  
○尊本・宮本無也字、  
○尊本・宮本、頭注有木落歸本、產男子、立願未果、  
○尊本・宮本無是字、

○尊本・宮本無也字、  
○京本無經曰以下之本文、  
○尊本・宮本補、  
○尊本・宮本無是字、

○尊本・宮本無於字、  
○京本、第二十四下有革字、  
○禮記云病革、注云、革急也、  
○京本無人字、  
○尊本・宮本補、

○尊本・宮本、頭注有懷孕女子也、  
○尊本・宮本、水流歸末之注、  
○尊本・宮本無是字、

○第二十六下、尊本・宮本有戊子午、壬子午、乙巳辛卯酉日大吉、子午卯酉是也之注、  
○殃、尊本・宮本作殊、  
○尊本・宮本無也字、  
○尊本・宮本無是字、

物、或人欲知何求、皆以此卦決之。

曲直卦第二十一

謂亥卯未木之位。若用傳終、皆遇之是也。若占遇此者、其人欲有伐木剋木之事。五月丁卯日、卯時占是也。

炎上卦第二十二

謂寅午戌火之位。若用傳終、皆得此神是也。若占遇此者、其人欲有炭灰鑪冶之事。〔經曰、

若見三火、將得白虎、皆方爲燒死事〕正月甲戌日、未時占是也。

稼穡卦第二十三

謂戊巳日。用起大吉・小吉、終於太一・勝先、或用傳終得四季土、及太一・勝先是也。若占

遇之者、其人欲有耕農土功之事。十一月癸丑日、辰時占是也。

從革卦第二十四

謂巳酉丑金之位、若用傳終、皆遇其神是也。若占遇之者、其人將有兵革金鐵之事。七月辛酉日、酉時占也。

潤下卦第二十五

謂申子辰水之位。若用傳終、皆遇其神是也。若占遇之者、其人欲有溝渠舟楫鈎網之事。八月庚辰日、

申時占是也。

九醜卦第二十六

謂天地之道、歸殃九醜、乙戊己辛壬之日、子午卯酉之辰、時加四仲大吉。臨日辰是也。當此

時、不可舉兵嫁娶遷移築室起土遠行、爲禍不出三年也。四月辛酉日、辰時占是也。



○第二十七下、京本有天網卦、一名天網四張卦、為羅網、為蜘蛛網、為萬物傷盡事、尊本·宮本有天網時、甲乙申酉、丙丁亥午庚辛巳午戌巳寅卯、壬癸丑未辰戌用是也之注

天網卦第二十七

謂時剋其日、用又助之是也。

二月庚子日、巳時占是也。

若占遇之者、所治事、上下有憂、天網四張、萬物盡傷、

以此占人、身死家亡也。

無祿卦第二十八

謂四上剋下法曰無祿也。若占遇之者、室空無人、老必孤獨。群臣受殃、妻子被殃。以此占人、

上剋下當此時、客勝主人為利。正月己巳日、辰時占是也。

絕紀卦第二十九

謂四下剋上法曰絕紀也。若占遇之者、臣輕其君、子慢其父、妻害其夫、奴婢賊主。生男妨父、

生女妨母、亡其先人、以此占人、皆無父母、臣事君、子事父為紀。今皆下賊上、故為絕紀、

故曰孤獨。當此時、利以居家、不宜為客。正月庚辰日、辰時占是也。

五憤四敘卦第三十

謂用傳皆得四季神是也。若用傳與敘并合、又遇凶將者、其人不敘害損殘人、即將身自受之、

不與敘并合者、將有丘墓之事。六月乙未日、卯時占是也。

三光三陽卦第三十一

謂日辰王相為一吉、用神王相為二吉、又得吉將為三吉。三吉並具名三光。主有喜事。用神在

王相之中為一陽、日辰在天一前為二陽、天一順治而行為三陽。三光既立、三陽又存。終必有

喜、重受其慶。六月戊辰日、寅時、六月戊寅日、寅時等占是也。以此占人、病者不死、舉尸入棺、猶復生、繫囚在獄、無徒刑、

臨刀在頸、未足驚。所訴者聽、沽市大利、所種者生。欲舉百事、无不成也。

○第三十下、京本有為敘荆物、為死亡物、為葬埋物之注、

○丘、尊本·宮本誤兵、

○治下、尊本·宮本有之字、

○驚下、尊本·宮本有所求者得四字、

○第三十二下、尊本·宮本有勝先三日用是也之注、  
○車、宮本作東、  
○花、尊本·宮本作華、下同、  
○象下、尊本·宮本有天馬者三字、又正月上、無天馬、二字

○第三十三下、尊本·宮本有大衝亦申用但吉將得時也之注、

○尊本·宮本、是斲輪以下為本文、

○第三十四下、京本有為慶賀事、為離造物、為官爵執印位悅事、尊本·宮本有太一亦子用、但得吉將時也之注、

○第三十五尊本·宮本有魁剛用梁執、天剛河魁日辰功曹在三傳中是也  
○尊本·宮本無也字、  
○魁下、尊本·宮本有剛字、  
○京本、頭注有三天天剛河魁功曹是也、  
○尊本·宮本無卯時二字、  
○甲、尊本·宮本誤申、

○注、尊本·宮本作正月庚寅日、二月乙酉日、申時占、巳時占是也、  
○覽下、尊本·宮本有之字、

高蓋駟馬卦第三十二

謂用起天馬、傳見車乘、終於花蓋是也。又將得天后·青龍·天一·太裳、皆有公卿之象。  
天馬、正月在午、二月在申、三月在戌、四月在子、五月在寅、六月在辰、 訖又始、神后為花蓋、大衝為車乘。  
假令、正月癸酉日、寅時占是也。

斲輪織綬卦第三十三

謂用起車乘、傳見印綬、將得婦女是也。踐公卿之位象、  
假令、二月庚戌日、卯時、太衝加庚為用、大衝主車乘也、卯者而遇金、是斲輪之象也、傳見河魁、主印綬來臨卯是、

綬在木之象也、將始大陰、中見六合、皆婦人所組織之象也。

鑄印乘軒卦第三十四

謂用起太一、傳見河魁、終太衝、是其卦也。初見天子、終以恩私也。  
正月癸未日、午時占是也。

斬開卦第三十五

謂日辰踰魁剛、而及功曹、二三並立門戶開梁是也。或魁加辰卦、發功曹、  
正月乙巳日、午時占是、 或以魁剛加辰卦、發河魁終功曹。  
正月庚寅日、卯時占也、 或以魁剛加日辰、三天俱動。  
今日庚寅日、卯時占也、 或以魁加辰、及剛加日。  
今日甲午魁加甲、今日庚午剛加庚是也、 以此占人、其人即不逃亡、當越開梁之象也。

天獄卦第三十六

謂用在囚死、斗繫其日本、占事在家、憂繫囚重遇戮辱、雖遇吉將、不能為救。  
二月乙酉日、巳時占也、  
右三十六卦、及九用次第、家家之說、各不同。又有三十五卦、六十四卦法。或一卦之下、管載數名、或一卦之內、舉多說。然而事繁多煩、省而不載、具存本經。以知可覽。

占病崇法第二十七

○第二十七下、尊本・宮本有妙云、病者死期以月將、若大歲上神爲白虎不出月中也、月上神爲白虎不出日中也、不出只此時死也、終始白虎與魁剛并者必死、據尊本・宮本補、無吉凶二字、據尊本・無、尊本・宮本作无、

○井、尊本作背、

○京本、頭注有或書曰、丈人父母也靈氣也之注、

○丘、尊本・宮本作兵、

○無、尊本・宮本作无、

○以下、尊本・宮本有余字、

○第二十八、尊本・宮本有大撓之文、

○天魁下、尊本・宮本有從魁二字、

○尊本・宮本作天剛天魁、又無以字、

○京本、頭注有以勝先神后下爲產時也、

謂占崇之大體、以日辰陰陽中凶將言之。神吉將凶、爲有崇神。神凶將吉、爲有崇鬼。各以神將分別吉凶。又有氣爲神所作、無氣爲鬼所作。用將俱木主社神、用將俱火主竈神、用將俱土主土公及大歲神、上下俱金主道路神、上下俱水主水神。功曹・大衝主氏神又風病、太一・勝先主竈神、傳送・從魁主僂神、或以馬祠神、徵明・神后・太衝・天剛主北辰、天剛主水邊土公、小吉主門井土公又厨膳、河魁主竈土及丘墓土公、大吉主山神大歲土公又小澤土公、從魁・太一・神后主咒咀、太一主毒藥及佛法、傳送主形像、騰蛇主竈神客死鬼、朱雀主竈神及咒咀惡鬼、六合主縛死鬼求食鬼、勾陣主土公廢竈神、青龍主社神及風病宿食物誤、天后主母鬼及水上神、大陰主廁鬼、玄武主溺死鬼乳死鬼、大裳主丈人、白虎主丘死鬼道路鬼、天空主無後鬼。餘以神將所主決之。

### 占病死生法第二十八

謂日爲身、辰爲病。若病剋身重、身剋病輕。白虎剋日重、日剋白虎輕。又云、常以月將加時、若大吉・小吉・天魁・微明、與白虎并加病者、行年及日辰皆死。又云、以大吉加初得病日、視行年上得天魁天剛、十死一生也、囚死之神、各騰蛇・白虎・魁剛、加得病之日、是爲三死。以加病者行年又死也。

### 占產期法第二十九

謂以月將加時視勝先、若加婦人年命、即日產、隨勝先所在爲產時。又云、欲知生時、視魁剛

所加爲生月、生月所加辰則生日也。

占產生男女法第三十

謂用在上剋下爲男、在下剋上爲女。一云、天一加孟爲男、加仲季爲女。一云、用得青龍・大裳爲男、得天后・大陰爲女。又法以傳送加本命行年上、見陽神生男、見陰神生女。又云、年上有功曹生男、有傳送生女。

○大陰下、尊本・宮本有騰蛇二字、  
○尊本・宮本無以字、  
○宮本脫見陽以下十四字、

占待人法第三十一

謂遊神加孟爲始發、加仲半道、加季爲既至。一云、東南行人、以子上神爲至期、西北行人、以午上神爲至期、遊神、春太一、夏神后、秋從魁、冬天剛。又云、用神在天一前爲疾、在天一後爲遲來期、魁剛下爲至期之。

○第三十一下、尊本・宮本有集云、天剛加子午以庚日至、加丑未以辛日至、加寅申以戊日至、加卯酉以己日至、加辰戌以丙至、加巳以丁日至之也、文、  
○之下、尊本・宮本有常視日辰上神後徵明已時至以所見神衝爲逐至期之也、注、

占盜失物得否法第三十二

謂以月將加時、天一及日辰、制所失之物類得、制玄武又得、日往剋辰之陽神、所失物不可得、辰之陰神來、剋日之陽神者、所失物得也。

○第三十二下、尊本・宮本有集靈云、天剛加孟、內人男子未出也、後之天剛加仲、男女共取後也、天剛加季、外女取後也、出不可後也、文、  
○失之、尊本・宮本作失、

占六畜逃亡法第三十三

謂日辰上神、制騰虵・玄武及物類神者即得、不制者不得、日辰上神、但制騰虵・玄武、而不

○亦、尊本·宮本作又、

○尊本·宮本無里也二字、

制物類神者不得、又制物類神、而不制騰蛇·玄武者亦不得。一云、魁剛加孟得、加仲半得、加季不得。欲知得期、其物類神所在之鄉里也。日辰爲期、欲知其方、以其物類神所在之鄉及其衝。爲所在方。假令、馬責勝先下午責大吉、下鷹責從魁·小吉下是也、他效此。

○第三十四下、尊本·宮本有直陰二字、

### 占聞事信否法第三十四

謂常以月將加時、大神加孟不可信、加仲半可信、加季可信之。大神、春大吉、夏神后、秋微明、冬河魁。

○第三十五下、尊本·宮本作否

直陰而雨從龍、風從白虎、占事、青龍白虎所乘神、有氣則有風雨也、青龍白虎與雷電并者大雨也、卯爲雷、有爲靈也之文、京本有青龍好雨、白虎好風、乘之神、有氣則有風雨也、

### 占有雨不法第三十五

謂常以月將加時、日辰上見神后·徵明·大衝有雨。一云、日辰上見亥子有雨、見寅卯有多風小雨、見巳午无雨、見申酉連陰雨少。

### 占晴法第三十六

謂以月將加時、視神后·徵明·勝先·太一所臨、在天一後二俱陰、在後四已除、傳送在天一前二四者、爲大風已除。又云、功曹爲青龍、傳送爲白虎者晴。又云、天上丙丁所臨下爲晴日。又云、河魁臨孟不晴、臨仲爲雨止、臨季爲立止。又以月將加月建、天上丙丁所臨爲晴日。

○尊本·宮本無天字、

○尊本·宮本無又云二字、

夫占事之趣、應窮精微、失之毫毛、實差千里、晴明楓萊枝疎、雖攀核實於老後、吉凶道異、

難逐聖跡於將來、唯舉一端之詞、粗抽六壬之意而已。

○尊本・宮本無天元以下、

天元六年

歲次  
己卯

五月二十六日

天文博士 安倍晴明撰

○尊本・宮本無指年法之項、

指年法

病事

男以功曹加她虎魁剛、  
女以傳送加她虎魁剛、

以大歲上為年。  
以大歲下為年。

口舌

男以功曹加朱雀句陳、  
女以傳送加朱雀句陳、

以大歲上為年。  
以大歲下為年。

慶賀

男以功曹加青龍大蒙、  
女以傳送加青龍大蒙、

以大歲上為年。  
以大歲下為年。

上中下

天剛加孟為上、加  
仲為中、加季為下。